

穂高砂防観測所での業務について

企画情報技術グループ

市田 児太郎

1. はじめに

私は平成 21 年 4 月に穂高砂防観測所の技術職員として採用されました。21 年度と 22 年度の 2 年間研修を兼ねて、宇治の技術室で勤務しています。現在宇治勤務ではありますが、毎月約 1 週間穂高砂防観測所へ出張しています。観測所には堤准教授と志田再雇用職員がいらっしゃいます。

私が今年度実際に取り組んだ業務はヒル谷観測網での業務がメインでした。この他には観測所内の PC 等の整備を多く行いました。

上記の業務について一部分ではありますがお話したいと思います。

2. ヒル谷観測網での業務について

主に学生支援と観測機器の整備を行いました。ヒル谷での作業は山登りから始まります。4 月には通れた道も 7 月頃には土砂が流れた事によって道が削られ迂回しないと先に進めないという事もあり、新しく迂回路を作る為、短管パイプを持って登り写真 1 の様な仮橋を作成した事もありました。この他にもヒル谷の中流や源頭部にあるカメラが映らないという時にはモニターを背負って登り、現地で確認して修理を行う事もありました。

また毎年 6 月、7 月頃にヒル谷試験堰堤の土砂出し実験が行われています。今年度も多くの研究者や学生が参加されました。今年度は雨の中での作業となりました。私はゲートの開閉を担当しながら、写真 2 のように溜まった土砂を参加されている皆さんと排出作業を行いました。

また、観測所内でヒル谷周辺のカメラの常時録画を行い映像の確認が出来るようになってきました。土砂出し実験の翌日早朝、ヒル谷源頭部のカメラに土砂が流れる様子が録画されていました。この流れた土砂の影響で 2 日連続の雨の中での土砂出し作業となりました。また、録画データを HDD レコーダーから探して DVD に焼き付ける作業も行いました。

写真 3 は土砂出し実験の約 1 ヶ月後に撮影した物ですが、1 ヶ月で全体の 3 分の 1 近く溜まっており驚きました。



写真 1 新しく作成した橋



写真 2 試験堰堤土砂出し前



写真 3 土砂出し約 1 ヶ月後

3 . 観測所内 PC 等の整備

私は観測所にある学生共用 PC2 台を中心に整備を行っています。毎日必ず起動している PC という事ではありませんので各アップデートやウイルスチェック、動作がおかしい等の不具合が発生した際は復旧も行いました。

写真 4 にある PC は今年度 2 度 OS が起動しないという状態になりましたので OS の再インストールと再設定を行い、古いハードディスク内のデータのバックアップを行いました。

また PC の他にも無線 LAN 等のネットワークシステムの管理を少しではありますが行いました。ネットワークシステムの管理に関しては IP の洗い出しとルータ、LAN ケーブル等の整理を行い観測所全体のネットワークを把握し、環境整備を順次行いたいと考えています。



写真 4 観測所学生共用 PC

4 . おわりに

今年 1 年間で様々な事を体験させていただきました。初めて行う事もとても多く戸惑う事や失敗もありましたがとても良い経験になりました。来年度は今後どの様な技術が必要なのかをしっかりと把握し、身につけていけるように行動していきます。また穂高の山にある植物の特徴と名前を少しずつでも覚え学生支援等に活用できるようにしていきたいと思ひます。

宇治での勤務もあと 1 年になります。宇治にいるからこそ経験出来る事がまだまだ多くあると思ひますので、来年度は今年度以上にいろいろな事に触れて、経験したいと思ひます。



番外 穂高の紅葉